

一学期 交わりに参加する生活**第2期（6月～8月） 期題「たのしい仲間」**

- *自分以外にもすてきな仲間がたくさんいることを知る。
- *先生、動物、花、自然界（風、雲、星等）、季節の変化などとの関わりを通して自分で出来る事は自分ですることの楽しさを学んでいく。



クローク・・・7月に入り、水遊びが始まると水遊びを楽しみにしながら、脱いだ服を丁寧にたたんだり、重ねたりする習慣が身につけてきています。年少児にとっては汗ばんだシャツを脱ぐことや遊び着の小さなボタンを留めることなどは難しい様子もありましたが、手伝ってもらいながら、少しずつ覚えて自分で出来る子が増えてきています。年中・年長児は小さな子の手伝いやお泊り保育などが自信となり、身支度を短時間でしようとする自覚が芽生えてきています。これからそら組は長い夏休みとなり、ほし組も保護者の方の休みにはプールや海に出かけたり、汗で着替える機会も増えることと思います。ご家庭でも丁寧に身の回りのことが出来るように、見守りながら「できるようになったね!」とあたたかな応援をしていただければと思います。また、9月に園生活をスムーズにスタートしていく為にも、生活リズムを崩さずに「早寝、早起き、朝ごはん」をこころがけていかれたらいいですね!!

絵のコーナー・・・登園後の身支度を済ませるとクレヨンを持って席につき、「今日は何を描こうかな?」と思い思いに自分の好きな絵をゆっくり丁寧に描いています。年中、年長児は日々の体験を描けるようになってきました。楽しかったお泊り保育や行事の絵、日々園で発見する虫や花、畑の野菜など丁寧に描く姿がみられています。なぐり描きが多かった年少児は大きい子の絵を真似しながら少しずつ自分のイメージしたものが描けるようになってきました。今年も「だいすき、ありがとう」というテーマで「住友生命子ども絵画コンクール」に普通の4倍もある大きな画用紙に描き、出展しました。

一段落したコーナーでは水性マジックを使ってにじみ絵やビー玉に絵の具をつけ転がし絵、自分の指を筆がわりにし絵具で絵を描いたり「ふしぎ～」といつもとは違う方法で描くことを体験しました。

また誕生児へのネックレス作りも「今度は〇〇ちゃんの誕生日だね!」と丁寧に取り組んでできました。これからは線描きや迷路遊びを通して正しい鉛筆の持ち方、姿勢を身につけていきたいと思っています。今後も楽しく自分のイメージを絵で表現していきたいと思っています。

**うちわづくり**

造形のコーナー・・・今年は粘土遊びを楽しむ子どもの姿が多く見られていましたが、保育参加で保護者の方と一緒にやったことをきっかけに更に粘土遊びが盛り上がり、「お父さんはこうしていたよ」と細かなところまでこだわったり、お友だちと一緒に大きな作品を作り想像力と手先をたくさん使って楽しんでいたり子どもたちです。七夕の時期には手作りの笹を作って笹飾り作りを楽しみました。七夕参加で一緒に作った楽しい経験から、更に笹飾りを作る姿が増え、たくさんの思いが飾られていました。

又、その飾り作りでのハサミやノリの経験も活かし...さくらさんが作った京けち染めした和紙を切り紙し、夏祭りに向けてのうちわ作りを楽しみました。和紙をハサミで切ることにも苦戦しながらも出来上がった切り紙の形をみて思わず「ワ～」と笑みがこぼれる子どもたち。このノリとハサミの経験を空き箱製作にも活かしていきたいと思っています。暑い日が続く、風鈴やアイスクリーム作りなど、夏ならではの空き箱製作を楽しむ姿も見られています。同時に、一つ一つの作品を丁寧にじっくり作り上げる姿も増えてきました。引き続き造形活動を通して季節を感じたり、子ども達の発想を大切にしながら自信や意欲を育てていきたいと思っています。

**粘土の傑作**

ごっこコーナー・・・初めは控えめだった年少さんも自分でやってみようとする姿があり、困った時には「どうすればいいの?」「一緒にやろう」と自分の思いを伝えられるようになり、1期に比べ、じっくりと遊び込むようになってきました。年少さんを遊びに誘ったり、分からないことを教えてあげたりする年中・年長さんにも成長を感じます。また、園での健康診断や歯科検診をきっかけに、「お医者さんになってみたい」という声が上がりと、子どもたちは造形コーナーでお薬や注射器、病院の看板などを作り、「こどものもりくりっく」がスタート! 「今日はどうしましたか」「先生、熱が出ました」「ポンポンするのでお腹を出してください」「ありがとうございました」「お大事に!」こうしたやり取りを通して、思いやりの気持ちが育ち、会話力も身に付いていくと思います。子どもたちの発想や優しさをたくさん見つけ、どんどん伸ばしていきたいです。



表現のコーナー・・・毎日盛り上がっている大型積み木では、お友だちとイメージを共通にしながらかや乗り物など様々なものが出来上がっています。使い終わると、積み木を組み合わせ大きな真四角になるように考えて、パズルのように楽しみながら片付けています。また、園庭の木陰ではみんな輪になり、年齢を超えて盆踊りを楽しんでいます。今年から“なかよし音頭”も仲間入り! 「えっへっへ～の笑顔～」と自然に笑顔が広がるとっても可愛い音頭です。盆踊りの輪の中に和太鼓を用意するとたくさんの子が順番に楽しんでいました。リズムが難しい時には、音楽をよく聞くといいことを伝え、耳を澄まし体全体でリズムを取ってたたいていました。プール遊びも始まり、入る前の準備体操として“ペンギンのプール体操”を踊っています。「ペンペンペン♪」とつい口ずさみたくなる曲です。これからも色々な曲でダンスや演奏をしながら、表現する楽しさを味わっていきましょう。



外あそびのコーナー・・・6月に入ると、園庭では大人気の転がしドッチボールが盛り上がりつつありました。すみれさんが中心となって、小さい子たちにルールを伝えながら一緒に楽しんでいました。保育参加デーでは、多くのお父様・お母様も汗をたくさん流しながら子どもたちと一緒にボールを追いかける姿が見られ、夢中になって遊んでいる姿も見られました。

7月に入ってからは、気温も上がり暑い日が続いています。暑さ対策として、パラソルやテント、ミストなどを出したり、木陰を利用して休息を取ったりしながら遊んでいます。また、園庭ではシャボン玉遊びも始まりました。ストローで吹くシャボン玉や、金魚すくい使ったポイに糸を巻いたものなどを使って、連日こどものもりの空に虹色のシャボン玉が飛んでいます。子どもたちと一緒にシャボン玉液を作っていると、分量なども目盛りを見ながら実験のように興味津々に取り組んでいます。また、「シャボン玉の飛び方向が変わるのはなんでだろう」と、風向きの変化にも興味を持ち始めています。子どもたちと楽しみながらも「なんで?」「どうしたらいっぱいシャボン玉がでてるのだろう」などなどいろいろと試したり、工夫したりしていきたいです。

この夏に「シャボン玉名人」が大勢出ることを楽しみにしています。

そら組の夏期保育からは「ビーチサンダル」で裸足になり、足元が軽快になりました。

休みにはいっただご家庭でも足の指まで神経が行き届くようにビーチサンダルやゲタの生活を楽しんでみてください。

**シャボン玉に夢中になりました**